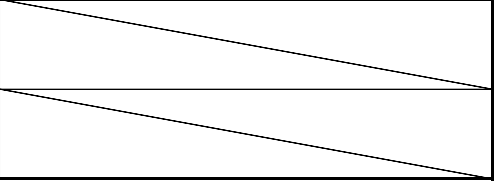
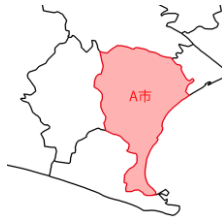
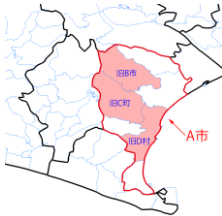




災害事例ID		1988-07-15_x_RLxxxx_JP14205-014329-13			範囲精度 *2 A
現在の自治体名*1		神奈川県 藤沢市 (地方公共団体コード: JP14205) 代表点座標: 35.33894, 139.491116			
災害の種類		風水害(洪水, 大雨), 斜面災害(表層崩壊)			
自然現象	風水害	期間降水量: 120 mm, 地点: 南消防署 (昭和63年7月15日 22:00 ~ 昭和63年7月16日 6:00)			
発生時期	発生日	1988年7月15日 (昭和63年7月15日)			
	災害の継続期間	1988年7月15日 (昭和63) ~ 1988年7月16日 (昭和63) (発生期間)			
被害詳細	建物被害	浸水被害	床下浸水	3棟	
	インフラ		道路	7箇所	
出典資料		藤沢市消防本部 (2009) : 消防年報 2009年(平成21年)版, p114.			

*1: 2013 (平成25) 年1月1日時点

災害事例ID		1988-07-15_x_RLxxxx_JP14205-014329-13	
風水害	期間降水量		120 mm, 地点: 南消防署 (昭和63年7月15日 22:00 ~ 昭和63年7月16日 6:00)
斜面災害	発生箇所数	表層崩壊	3箇所

*2：範囲精度の解説

範囲精度	事例の地理的な範囲の用例	事例範囲のイメージ
A	事例レコードの地理的範囲と災害統計値の集計エリアとが同一。	
B	事例レコードの地理的範囲(現在のA市)は、災害発生当時の旧市町村エリアよりも大きいため、実際には災害が発生していない地域も含む。	
C	出典資料に事例レコードの地理的範囲に関する記述が無く、正確な範囲が不明。(例:非常に古い災害、河川の流域)	
D	事例レコードおよびその周辺地域(隣接自治体までの範囲)を含む範囲で、かつ、事例レコードの範囲に関する情報を抽出できない。この場合、事例レコード内での被害状況は事実よりも過剰な記述となる。	
E	事例レコードを含む広域(郡、県、山麓レベル)の範囲で、かつ、事例レコードの範囲に関する情報を抽出できない。	<p style="text-align: center;">県・地方単位</p>